

## ■■■ 第2回ワークショップ（11/11 開催）でのご質問について■■■

No.	質問事項	事務局からの回答
①	学校関係者を（WSに）入れることはできないか？	<p>地域別実行計画の策定にあたっては地域のみなさんと協働で策定することとしており、ワークショップは、地域のみなさんのご意見を反映するための機会として開催させていただいています。学校に関するご意見やご質問事項については、随時、学校長にも報告させていただいています。</p> <p>また、ワークショップの事務局として、西区教育支援センターの職員も出席していますので、ご質問等がありましたら、お声掛けください。</p>
②	保育園の整備は中期的取組として10年後を考えているとのことだが、施設整備にはそんなに時間がかかるものなのか？	<p>現在、多くの市立保育園において老朽化や狭あい化が進んでいること、また、今後も、子育てと仕事を両立するための保育ニーズの増大が予想されることから、これらの状況に適切かつ持続的に対応するため、本年10月に市立保育園配置計画を策定しました。この計画において、施設の対応方針として、概ね5年以内（2018～2022年度）を短期、概ね10年以内（2023～2027年度）を中期、概ね20年以内（2028～2037年度）及びそれ以降を長期と対応時期を設定しており、坂井保育園は、中期の概ね10年以内（2023～2027年度）に対応することで考えておりますが、状況によっては早まることもあります。</p> <p>なお、実際の整備にかかる期間は、場所の選定や用地確保（取得）、設計から施設工事完成まで、概ね4～5年を要すると考えております。</p>
③	坂井輪児童館のコストが高いのは、何が原因なのかを知りたい。	<p>「平成29年度新潟市財産白書」の児童館の利用コスト状況は、「運営にかかる総コスト」を「総利用者数」で除した値で比較しています。坂井輪児童館は、他の施設に比べ利用者数が最も少ないことから、利用コストが高くなっています。また、坂井児童館の運営は市直営ですが、市直営に比べて指定管理している施設の方が、運営コストは若干安い傾向となっています。</p>
④	西区全体でみたときに、公立・私立の保育園で児童数はカバーできているのか？	<p>西区内保育施設の本年4月の入園状況は、（市立・私立保育園ともに）入園決定者の約8割の方が第1希望の保育園に入園しており、4月1日時点での国定義による待機児童数は0人となっています。</p> <p>しかし、0～2歳の低年齢児を中心に、育休からの復帰などによる年度途中の入園は厳しい状況になっており、西区では昨年度、10月以降に待機児童が発生しています。本年度はまだ発生していませんが、厳しい入園状況は続い</p>

		<p>ています。そのため西区内では、毎年、民間の保育施設の新設や増改築により定員を増加させており、昨年度は 132 名、本年度は 129 名を増加し、さらに来年度は 109 名の定員増加を予定しています。</p>
⑤	<p>児童館は、新潟市全体としての整備方針や利用者の範囲の設定をすべきではないか？</p>	<p>児童館の整備については現時点では整備の方針はありませんが、子どもの居場所の確保についてのご要望は多数いただいていることから、どのような形での支援が行えるのかについては関係部署との協議が必要であると考えています。</p> <p>利用者の範囲については、基本的には施設近隣の方を想定していますが、市の施設ですのでどなたでもご利用できる施設として考えており、現時点では利用にあたっての範囲を設定することは検討していません。</p>
⑥	<p>老人憩いの家を更新しないという方針はなぜか？入浴機能を確保すべきではないか？</p>	<p>平成 18 年度に「新潟市老人憩の家運営事業検討委員会」でまとめられた提言では、老人憩の家は高齢者人口の増加に反して利用者数が減少しているなどの状況から、「老人専用の施設整備から地域住民による地域づくりの拠点施設整備へ転換すべき」、「施設の補修等は必要最小限とし、新たな老人憩の家の整備は行わない」とされています。この提言を受け、老人憩の家については更新しないこととして、可能な限り補修しながら、現在まで運用してきております。</p>
⑦	<p>各対策案について、評価項目（課題解決の狙い）のどこの項目を反映させたのか、分かるように案を示してほしい。</p>	<p>修正 A 案、B 案については②安心・安全、③子育て環境の確保に重点を置いた案として作成しています。</p> <p>修正 C 案については、④地域活性化、多世代共生・交流、⑥民間活用・空き家活用に重きを置いて作成しています。</p> <p>今回、新たにお示しする D、E 案は皆様のご意見をふまえた新たな案として作成しました。</p> <p>みなさんからのご意見を踏まえて公共施設の配置を組み替えることで、結果的に、その他の評価項目についても何らかの変化が生じます。作成された各案が、公共施設再配置を通じ、各評価項目をどの程度達成しているかを検証するのが比較評価（案）となりますが、1 つの評価項目だけではなく、様々な視点のもと総合的にどの案が地域にとって相応しいか、ご意見をいただくと幸いです。</p>
⑧	<p>データによると、坂井輪地域はそこまでコストがかからず、良い評価の施設が多いようだ。それなのになぜ減らさな</p>	<p>坂井輪中学校区では、保育園など施設の老朽化に加え、新通小学校分離新設校の整備に伴い、余裕教室が生じることから、これらを契機に地域別実行計画の検討に着手しました。</p> <p>将来の税込増加の見込みが厳しいなかで、今ある施設の</p>

	<p>くてはならないのか、説明をしてもらい現状を把握した上で案の議論をしたい。</p>	<p>全てを今後も同じように維持するのは難しい状況のため、単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換や余裕教室の有効活用によって、施設規模は縮小してもサービス機能を可能な限り維持するなど、どのように施設にかかる費用を削減するか、地域みなさんと一緒に検討しながら、坂井輪地域の公共施設の今後のあり方を示す地域別実行計画を策定しますので、忌憚のないご意見をお願いします。</p>
<p>⑨</p>	<p>分離新設校はつくり、小学校、中学校、公民館を一緒にできるとよい。公民館は手狭なのでもっと広いスペースが必要である。図書館は寺尾中央公園に移転してはどうだろうか</p>	<p>分離新設項校については、平成24年から地域みなさんと意見交換を行いながら、新通小学校を分離し新たな小学校を整備することとなりました。</p> <p>公民館・図書館については、築年数が浅く、当面は現状のまま維持することが可能な施設であることから、長期的な取り組みの中で、学校施設のあり方とともに、改めて方針を市民の皆様とともに検討いたします。</p>
<p>⑩</p>	<p>地域別実行計画に取り組む市全体のスケジュール、削減目標について教えてほしい。</p>	<p>財産経営推進計画では、地域別の「実行計画」を地域みなさんと協働で策定することとしており、中学校区を基本とした55の地域ごとに、学校統合や、主要な施設が更新時期を迎えるなど、公共施設に動きのある地域から順次策定に着手することとしています。</p> <p>これまで地域別実行計画を策定した3地域も、学校の統廃合や区役所の建替えを契機として検討に着手しましたが、坂井輪中学校区では、新通小学校の分離新設校の整備を契機として、公共施設のこれからを考えるワークショップ（WS）を開始しました。今後の他の地域でも同様に、主要な公共施設に動きが生じた段階で検討に着手していきます。なお、多くの施設は、更新時期を迎える時期が概ね10年後以降となります。</p> <p>また、地域別実行計画は、実効性を持たせることが大切であると考えており、旧新潟市域と、施設をフルセットで持って合併した地域とでは、施設の配置状況が大きく異なることから、現時点では一律何％削減などの削減目標を設定することは難しいと考えています。</p> <p>今後の削減目標の設定にあたっては、これまで策定した3地域に加え、坂井輪地域やさまざまな地域の検討結果をデータとして整理し、類似する他の地域に当てはめて、全体像が見える化していきます。</p>